

県地域公共交通計画に係る令和7年度の**実施結果**（案）【国の主な取組】

赤文字：本協議会での指摘により修正

資料 1

目標	施策	令和7年度事業計画	令和7年度 実施結果
1 公共交通ネットワークの維持確保	1 広域幹線交通の維持確保	中部運輸局作成リーフレットによる情報提供や指導・助言等	各自自治体へリーフレットを用いて地域公共交通会議に関する説明や、各地域公共交通会議や個別相談等で指導・助言を実施した
	2 地域内交通を支える市町支援	「交通空白」解消緊急対策事業等を活用した「交通空白」の解消に向けた取組の推進	国土交通省「交通空白」解消本部（令和6年7月設置）の取組の一環として13市町へ首長等訪問を実施し、情報提供した
	3 運転手等公共交通を支える人材確保	下記の国庫補助制度による公共交通事業者等への財政支援 ・地域間幹線系統確保維持国庫補助金 ・交通DX・GXによる経営改善支援事業	・左記の財政支援を実施した ・県バス協会と連携し、バス人材確保のため運転体験・会社説明会（10/5 一般向け、12/10 退職予定自衛官向け）及びハローワークでの就職相談会（8/18 静岡、10/8 沼津、11/26 浜松）を開催した ・自衛隊富士地域援護センターと連携し、バス事業、タクシー事業及び自動車整備業に係る業種説明を駐屯地において実施した ・将来の担い手となり得るこども向けに、業界PRのため「ちびっここのりものチャレンジフェスタ」（3/7 エスパルストリームプラザ）を開催した
2 公共交通の活用促進	1 モビリティマネジメントの推進	地域公共交通セミナーによる事例紹介やバリアフリー教室（バス車両乗降体験）など開催	左記の内容の取組を実施した
	2 周遊性の向上・改善	下記の国庫補助制度による公共交通事業者等への財政支援 ・地域における受入環境整備促進事業 ・日本版MaaS推進・支援事業 ・地域公共交通再構築事業	地域における受入環境整備促進事業等を活用した公共交通事業者への財政支援を実施するとともに、下記の財政支援を実施した ・共創モデル実証運行で9件事業採択 ・「交通空白」緊急対策緊急対策事業で13件事業採択 静岡運輸支局にて、新入学生及向けにリーフレットを作成し、主要乗合バス会社を通じて各社沿線の高校へ配布した
	3 公共交通の役割・魅力の発信		
4 公共交通を快適に利用できる環境の整備			
3 公共交通サービスの効率化・高度化	3 交通結節点における円滑な接続	中部運輸局作成リーフレットによる情報提供や指導・助言等	左記のとおり情報提供や指導・助言等を実施した
	1 バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の促進	下記の国庫補助制度による公共交通事業者等への財政支援 ・地域公共交通バリア解消促進事業 ・交通DX・GXによる経営改善支援事業 ・「共創・MaaS実証プロジェクト」	左記の財政支援を実施するとともに、下記の財政支援を実施した ・共創モデル実証運行で9件事業採択 ・「交通空白」緊急対策緊急対策事業で13件事業採択
	2 DXの導入促進		
	4 駅・停留所から自宅・目的地に向けた移動手段の確保の支援		
	5 交通分野におけるGX推進		

県地域公共交通計画に係る令和7年度の**実施結果**（案）【県の主な取組】

下線部：令和7年度の重点取組

目標		施策	令和7年度事業計画	令和7年度 実施結果
1 公共交通ネットワークの維持確保	2 地域内交通を支える市町支援		<u>交通空白地における交通手段に関して、市町向けにアドバイザー派遣やセミナー開催等を行う</u>	市町にアドバイザーを15回（4市町）派遣するとともに、各地域でセミナーを開催した（9/26 賀茂、11/26 中部、3/5 西部(予定)、3/5 東部(予定)）
2 公共交通の利活用促進	1 モビリティマネジメントの推進		ハッピーライド in 静岡の開催（事務局の補佐、イベントの効果分析など）	県内の全小学生を対象としたバス無料デーを12月13日、14日に開催した。実施報告及び効果分析は資料1-1のとおり
	3 公共交通の役割・魅力の発信			
	2 周遊性の向上・改善		訪日外国人の受入環境に関して、他県事例を調査し、とりまとめる	他県事例を資料1-2のとおりとりまとめた
3 公共交通サービスの効率化・高度化	3 交通結節点における円滑な接続		輸送手段のシームレスな連携及び交通結節点における各種案内に関して、他県事例と調査し、とりまとめる	輸送手段のシームレスな連携に関する他県事例を資料1-3（交通結節点における各種案内は資料1-6）のとおりとりまとめた
	4 駅・停留所から自宅・目的地に向けた移動手段の確保の支援		<ul style="list-style-type: none"> 交通空白地における交通手段に関して、市町向けにアドバイザー派遣やセミナー開催等を行う【再掲】 多様な輸送資源の活用に関して、賀茂地域等における地域資源の掘り起こしのための調査を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 市町にアドバイザーを15回（4市町）派遣するとともに、各地域でセミナーを開催した（9/26 賀茂、11/26 中部、3/5 西部(予定)、3/5 東部(予定)）【再掲】 資料1-4のとおり、調査を実施した
	5 交通分野におけるGX推進		ハッピーライド in 静岡の開催（事務局の補佐、イベントの効果分析など）【再掲】	県内の全小学生を対象としたバス無料デーを12月13日、14日に開催した。実施報告及び効果分析は資料1-1のとおり【再掲】
伊豆地域の施策	観光需要に応じた移動手段の提供		パーソナルモビリティ等の活用に関して、他県事例を調査し、とりまとめる	他県事例を資料1-5のとおりとりまとめ、2月20日の地域分科会で共有した
東部地域の施策	モード間の乗継環境改善		交通結節点における各種案内に関して、他県事例を調査しとりまとめる【再掲】	他県事例を資料1-6のとおりとりまとめ、2月20日の地域分科会で共有した
中部地域の施策	利用者ニーズにマッチした公共交通サービスの提供		デマンド交通の効率化・合理化に関して、他県事例を調査し、とりまとめる	他県事例を資料1-7のとおりとりまとめ、2月19日の地域分科会で共有した
西部地域の施策	自家用車からの転換に繋がる移動手段の創出		ファースト・ラストワンマイルの移動に関して、他県事例を調査し、とりまとめる	他県事例を資料1-8のとおりとりまとめ、2月19日の地域分科会で共有した

県地域公共交通計画に係る令和7年度の**実施結果**（案）【市町の主な取組】

目標	施策	令和7年度事業計画	令和7年度 実施結果
1 公共交通ネットワークの維持確保	2 地域内交通を支える市町支援 ①交通空白地等における交通手段の維持・確保	公共ライドシェアの実証運行を検討（地区説明会の開催、交通事業者等との調整）【伊豆の国市】	<u>公共ライドシェアの実証運行を実施【伊豆の国市】</u>
		グリーンスローモビリティ実証実験【東伊豆町】	グリーンスローモビリティ実証実験を実施した【東伊豆町】
		交通空白地域における地域タクシー制度の導入【島田市】	交通空白地域において地域タクシー制度を導入した【島田市】
		地域タクシーの実証運行を9月まで行い、課題等を整理して、10月から本格運行を開始【森町】	令和7年9月まで地域タクシー実証運行を行い、利用者に対しアンケート調査を実施した。その結果を踏まえて、新たな目的地を3か所追加し、令和7年10月から本格運行を開始した【森町】
		交通空白地の把握に向けた調査実施【裾野市、伊東市】	<u>交通空白地把握のための調査を実施した【裾野市（ビッグデータを活用）、伊東市】</u>
2 公共交通の活用促進	1 モビリティマネジメントの推進 ②自家用車から公共交通への利用転換につながるイベントの実施	一人暮らし等高齢者の全世帯に啓発パンフレットを配布（高齢者向けのモビリティマネジメントの推進）【沼津市】	高齢者向けのバスの乗り方研修を2回実施し、高齢者向けのモビリティマネジメントのパンフレットを作成・配布した【沼津市】
		4 公共交通を快適に利用できる環境の整備 ②デジタル技術を活用した公共交通サービスの効率化・高度化	自動運転の実証運行【静岡市、富士市】
		AI オンデマンド交通の実証運行【長泉町、掛川市、御前崎市】	AI オンデマンド交通の実証運行を実施した【長泉町、掛川市、御前崎市】
		企業連携バスにおけるオンライン化及びLINE 整備【牧之原市】	企業連携バスにおける会員登録のオンラインでの申請促進を行った【牧之原市】
		前年度導入した MaaS アプリの運用【富士市】	・MaaS アプリ「乗換案内」と「のるーとふじ」の連携を行った【富士市】
3 公共交通サービスの効率化・高度化	2 DX の導入促進 ②GTFS（バス情報オープンデータ）の作成・活用支援	GTFS の作成検討【富士宮市、裾野市、浜松市、御前崎市】	GTFS 作成を事業者等と検討した【富士宮市、浜松市、御前崎市】 その結果、事業者が作成した【裾野市】
		GTFS データリポジトリへの掲載【袋井市】	GTFS データリポジトリへの掲載を行った【袋井市】
	4 駅・停留所から自宅・目的地に向けた移動手段の確保の支援 ②地域の多様な輸送資源の活用・検討	企業シャトル BaaS 事業の実装に向けた継続検討【湖西市】	関係者と協議・調整を行い、令和8年1月14日より通年運行を開始した【湖西市】
		シャトルバスを導入している地元企業との協議【牧之原市】	協議の結果、社用バスの住民利用（矢崎アローライン）を開始した【牧之原市】

目標	施策	令和7年度事業計画	令和7年度 実施結果
中部地域の施策	利用者ニーズにマッチした公共交通サービスの提供	デマンド乗合タクシーの合理化【牧之原市】	デマンド乗合タクシーの運賃改定を行うとともに、利便性の向上を図った【牧之原市】
西部地域の施策	自家用車からの転換に繋がる移動手段の創出	準交通空白地に応じたタクシーとの共同運行の導入のため、実証運行を行う【湖西市】	令和7年10月、11月の土曜日午前中に、タクシー会社の車両を用いた公共ライドシェアの実証運行を実施した【湖西市】
		電動アシスト自転車、電動車いすの購入費補助【森町】	電動アシスト自転車、電動車いすの購入費補助を実施した【森町】

県地域公共交通計画に係る令和7年度の**実施結果**（案）【交通事業者の主な取組】

目標	施策	令和7年度事業計画	令和7年度 実施結果
1 公共交通ネットワークの維持確保	2 地域内交通を支える市町支援 ①交通空白地等における交通手段の維持・確保	「交通空白」解消・官民連携プラットフォームへの参画【しずてつジャストライン】	「交通空白」解消・官民連携プラットフォームに参画した【しずてつジャストライン】
		自動運転実証実験への協力【しずてつジャストライン】	焼津市との包括連携協定締結に基づいて自動運転実証体制を構築した【しずてつジャストライン】
		学校統合に合わせた新路線の準備【東海バス】	学校統合に合わせ自治体と調整を行った【東海バス】
	3 運転手等公共交通を支える人材確保 ①運転手等の労働環境改善に向けた支援の充実	賃金、手当の見直し【富士急バス、富士急モビリティ、伊豆箱根鉄道】	賃金の見直し（ベースアップ等）、定期昇給、手当の拡充等を実施した【富士急バス、富士急モビリティ、伊豆箱根鉄道、天竜浜名湖鉄道、遠州鉄道】
長時間労働是正に向けたダイヤ改正や仕業内容の見直し、処遇改善【東海バス、伊豆箱根バス】		改善基準告示に沿ったダイヤ改正や仕業内容の見直し、処遇改善を行った【東海バス、伊豆箱根バス】	
リファラル採用制度の導入【伊豆急行】		リファラル採用制度を導入し、2名が入社した【伊豆急行】	
4 安全・安心な利用環境の維持確保 ①老朽化した車両・施設・設備等の更新・耐震・長寿命化	老朽化した車両の撤去に伴う新車両の導入【伊豆箱根バス】	老朽化した車両の撤去に伴い、新車2台と中古車3台を導入した【伊豆箱根バス】	
	2 公共交通の利活用促進	2 周遊性の向上・改善 ②訪日外国人など旅行者の受入環境の整備	多言語対応と連携体制の強化を図るモバイル端末の導入【伊豆急行】
	4 公共交通を快適に利用できる環境の整備 ①上屋・ベンチ設置等による待合環境の充実	バス停の上屋設置に向けた自治体との協議【伊豆箱根バス】	協議の結果、自治体が上屋を整備する方向で現在準備を進めている【伊豆箱根バス】

目標	施策	令和7年度事業計画	令和7年度 実施結果
3 公共交通サービスの効率化・高度化	1 バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の促進 ②交通弱者等に対する支援の充実	精神障害者割引制度の導入【伊豆急行】	精神障害者割引制度を導入した【伊豆急行】
		駅の点字タイルの改修【伊豆箱根鉄道】	駅の点字タイルの改修（2025年11月20日竣工）【伊豆箱根鉄道】
	3 交通結節点における円滑な接続 ①鉄道、バス、タクシー、航路などあらゆる輸送手段のシームレスな連携	他社との接続を考慮したダイヤの編成【天竜浜名湖鉄道、東海バス、しずてつジャストライン】	他社との接続を考慮してダイヤを改定した【天竜浜名湖鉄道、東海バス、しずてつジャストライン】
		「利用者アンケート」の実施【静岡鉄道】	「利用者アンケート」を実施した【静岡鉄道】
5 交通分野におけるGX推進 ①環境に配慮した車両の導入	EVバスの導入【富士急バス、しずてつジャストライン】	連節バス2台、EVバス1台を導入した【しずてつジャストライン】 EVバス6台を導入した【富士急バス】 EVバス1台を導入した【遠州鉄道】 EVバス（ノンステップバス）1台を導入した【富士急モビリティ】	
東部地域の施策	モード間の乗継環境改善	現在設置しているサイネージをより効果的に活用した情報発信を行い、乗継環境の改善に努める【富士急モビリティ】	設置しているサイネージを活用し、情報発信を行っている【富士急モビリティ】
西部地域の施策	自家用車からの転換に繋がる移動手段の創出	サイクルトレインの実施【天竜浜名湖鉄道】	次世代モビリティの実証実験を実施した【天竜浜名湖鉄道】 <u>交通結節点である姫街道車庫バス停の駐車場を拡充した【遠州鉄道】</u>